

三田川中学校 学校教育目標

日本国憲法 教育基本法 学校教育法等
 ・学習指導要領
 ・佐賀県教育の基本方針
 ・吉野ヶ里町教育大綱

吉野ヶ里町教育の4つの柱
 I 「自立する人間の育成」
 II 「世界を視野に入れた人間の育成」
 III 「学校、家庭及び地域等の接続・連携」
 IV 「魅力ある教育環境づくり」

【校訓】 ゆたかに自律 たくましく自立
<学校教育目標> 夢実現に挑戦し、努力する生徒の育成

目標達成のキーポイント：組織力・指導力・信頼関係・人間力の育成

具体的な目標（学校経営ビジョン）

- ・生徒の支援・指導を中心に据え、組織的な支援・指導体制を確立する。「チーム三田川中」
- ・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を教育の使命として取り組む。
- ・開発的生徒指導で生徒を育てる。

めざす学校像

「凜」とした元気・感動・温もりのある信頼される学校 ※「凜」…時を守り、場を清め、礼を正す
 [生徒が学んで良かった・保護者が預けて良かった・教職員が勤めて良かった三田川中を目指す。]

めざす生徒像

- ・夢や希望をもち、切磋琢磨する生徒
- ・自ら学び、よく考えて行動する生徒
- ・自分や他人を大切に、生命を尊重する生徒
- ・礼儀正しく、心豊かな生徒
- ・健康で明るく、自己表現できる生徒

めざす教師像

- ・教育的使命感・情熱にあふれ、互いに高め合う教師
- ・生徒を愛し、生徒とともに学ぶ教師
- ・研究熱心で、保護者から信頼される教師

めざす家庭像

- ・気持ちのよい挨拶が弾み明るい家庭
- ・共に学び、学習時間を確保する家庭
- ・生徒のよさを認め、伸ばす家庭

めざす地域像

- ・自然と顔の見える関係が育まれ、住民が共に支え合いながら、元気に、安心して暮らす地域
- ・見守りや支え合いなどの共助が育まれ、絆が深まる地域
- ・様々な活動に参画しやすい地域

研究主題

指導の重点（具体的教育活動）

魅力ある学校づくり

- ◎ 生徒が意欲的に学び・活動する学校づくり
- ◎ 校内研究の取組みによる相互理解・協同性の促進
- ◎ 学校全体で組織的に取り組む不登校対策
- ◎ 家庭や小学校、地域等との連携・交流
- ◎ 地域とともにある学校づくりの推進

(1) 豊かな心

- ・生命尊重の教育の推進
- ・道徳教育の推進
- ・心の教育の充実
- ・個性尊重の教育の推進
- ・個に応じた教育の充実

(2) 確かな学力

- ・指導方法の工夫改善
- ・基礎・基本の確実な定着と資質・能力の向上
- ・ICT利活用による指導の改善
- ・学習習慣の確立
- ・家庭学習の充実・定着

(3) 健やかな体

- ・たくましい体力づくり
- ・健康・安全教育の推進
- ・食育の充実

検証

- ・学校評価、生徒・保護者アンケート、生徒による授業評価
- ・全国学力・学習状況調査、県学習状況調査、NRT、QU等
- ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)等
- ・各種報告（指導方法改善、いじめ・問題行動報告、不登校等）

次年度の指導の重点と課題へ

本年度教育の重点

- 1 人権感覚を磨き、人権意識を高める人権・同和教育を推進する。
- 2 生徒を中心に据えた「豊かな心」を育む開発的な生徒指導を行い、「人間力」を高める。
- 3 授業では指導方法の工夫・改善を行い、家庭では基本的な生活習慣及び家庭学習の定着を図り、学力向上をめざす。
- 4 SDGsに関する学習を通して、生徒に持続可能な社会や世界の創り手となるために必要な資質・能力を育成する。

1 生命や人権を尊重する人権・同和教育の推進

お互いを尊重しあえる仲間づくり

- ① 仲間づくりによるいじめ防止
- ② 人間関係を良好につくり・保つためのスキルアップ
- ③ 同和問題学習の充実
- ④ 自己肯定感と自尊感情を高める取組
- ⑤ 言語環境の整備

2 豊かな心と望ましい人間関係を育てる生徒指導

(1) 早期発見・早期対応と共感的生徒理解

- ① 開発的な生徒指導の推進
- ② 学年職員全員による同一指導と全職員の共通実践

(2) 生徒理解による不登校対策

- ① SC, SSW等との連携
- ② 人間関係づくりを主にした学級経営
- ③ 教育相談主任を中心とした組織的な取り組み
- ④ 教育相談活動の充実と配慮の必要な生徒の随時個別相談
- ⑤ 諸調査や観察による早期発見・早期対応

(3) 生徒会活動の活性化

- ① 自主的活動の充実
- ② 一人一役の徹底と責任感の醸成

(4) 豊かな心を育む道德教育

- ① 正しい判断・実践力の育成
- ② 生徒の内面に根ざした道德性・規範意識の醸成

(5) 部活動指導による人間形成

(6) 安全教育の徹底と危機回避能力の育成

3 指導方法の工夫・改善による学力向上

(1) 基礎・基本の徹底指導と定着

(2) 校内研究の充実・指導方法の工夫改善による授業実践

- ① 生徒の思考を刺激する課題設定の工夫
- ② グループ学習による定着と深化
- ③ 主体的に学び、互いに深め合う学習集団づくりの工夫

4 基本的な生活・学習習慣及び家庭学習の定着

(1) 基本的な生活習慣の定着と凡事徹底による人間力の育成

- 3分前着席と「立腰」による学習の構えの定着

(2) 開発的な生徒指導による人間力の育成

- 出番・役割・承認を取り組み、生徒に達成感・充実感をもたせる活動の工夫

(3) 家庭学習の定着

- ① 各学年の各時期に応じた週当たりの最低学習時間の達成
- ② 質と量を考えた宿題の工夫

5 SDGsの取組

各教科で複数の目標に向けての学習を有機的につなげる取組を行うことで、持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育成する。